

第3回 久木会館建替えワークショップ 議事概要

■開催日時：2023年（令和5年）5月27日（土） 10：00～12：05

■開催場所：久木会館

■参加者：公募市民：10名（欠席1名）

傍聴者：1名

小林由高ファシリテーター（市民交流センター副館長）

市民協働課（西久美子係長、今野仁介主事（議事録作成者））

■配付資料

- ・WS資料（スクリーン表示のもの）
- ・久木会館現状図面
- ・会議室設置イメージ図面
- ・調理台配置パターン図面

■議事

1. あいさつ、進め方

（小林由高ファシリテーター）

- ・本日のワークショップ（以下、WSとする）について、まずは前回WSにおける確認事項の共有を行う。また、これまでのWSのアイディアについて優先順位をつけて取捨選択を行い、別紙シートに各施設（部屋、共有スペース、付帯設備等）の状況を記載する。
 - ・6/10(月)のWS最終回については、共有した別紙シート及び第3回WSまでの意見等を反映した図面を設計事務所が作成し、会議資料としてメンバーにお示しをする。最終的な図面、WS報告書の作成に向け、議論を深めていければと考えている。
- ※今回初参加のメンバーから自己紹介があり、久木会館についての思いや考えを述べた。

2. 第2回WS確認事項の共有

① 学童図面における北側階段の影響について（第2回配付資料より）

（小林由高ファシリテーター）

- ・市が設計事務所に確認を行ったところ、採光等も含め久木会館側には特に影響がないとのことである。

② 調理室のレイアウト例について

※後の意見交換で議論することとなった。

③ 久木会館と道路の距離について（WS資料に記載なし）

（小林由高ファシリテーター）

・市が設計事務所に確認を行ったところ、久木会館と道路（フェンス）の距離については、約3m程度とのことである。

（メンバー）

・第2回概要にあるWS報告書とは何か。また、久木会館の外構部分についての意見を市に伝えたい場合はどのようにしたらよいか。

（小林由高ファシリテーター）

・本WS（全4回）で議論された意見、最終的な図面等をまとめた報告書であり、パブリックコメントの素案にもつながるものである。また、会館の外構部分については、市民協働課に意見をまとめたものを送付してもらえれば、教育部に申し送りを行う。

3. 前回WSまでのアイディアの優先順位づけ

（小林由高ファシリテーター）

・別紙WS資料のとおり、前回までのアイディアを大まかにまとめ、5つの項目（【①集い・交流、②利便性向上、③音楽・ダンス特化、④収益性向上、⑤地域活動促進】）に分けて、整理を行った。また、前回までのWSを踏まえ、議論するうえで必要となる価値観についても共有させていただく（別紙WS資料、【実現したいこと】・【施設の設計に大切な視点】参照）。

●主な意見は以下のとおり

（メンバー）

・ファシリテーターに共有いただいた「交わる」という視点は重要で、久木会館も大切にしている点である。現在の会館は壁で仕切られておらず、バレエの練習風景、英語のレッスン等も見えるため、利用者の姿がお互いにオープンになっているという感覚は大事にしたい。

・「兼ねる」という視点について、事務室を例に挙げると、例えば地域活動の促進に寄与すること等、単純な事務室的な用途以外の複数の使い方を考えたい。

【調理室】

（西久美子市民協働係長）

・前回までのWSにおいて、前提として既存の会館の備品は新しい会館に持っていくということを伝えており、市民協働課としても調理台は持っていく備品と認識していた。しかし、再度教育部と協議したところ、水回りや配管等の都合もあるため、調理台については既存のものではなく新たなものを設置することとなった。については、調理台に関して、配布したレイアウト例（別紙調理台配置パターン）を参考にご意見をいただきたい。

(メンバー)

・現状、料理教室も中止されており、団体の料理の活動が年数回に留まっていることから、コロナの影響を考慮しても、会館の中では調理室の利用率が低いと考える。機会損失を減らすためにもコンパクトなサイズ感としてもいいかもしれない。

(メンバー)

・確かに利用率は低いが、子ども食堂等を通じた世代間交流の施設と考えると、調理室は必要な施設だと考える。

(メンバー)

・今後の社会を想定すると、高齢者を対象とした料理教室の需要が拡大するかもしれない。

(メンバー)

・調理室について、やはり現在の利用率の低さを心配してしまう。料理教室、子ども食堂以外の別の使い方を考えて何とか利用率を上げたい。

(メンバー)

・自主事業や売店も含めた方策を考えてもいいかもしれない。

(メンバー)

・例えば商工会と協力して、飲食店のスタートアップ支援のために調理室を利用してもらうというアイデアもある。

(メンバー)

・福祉的な観点から、市役所1階に青い鳥が出店されているように、福祉団体と協力するという手法も考えられる。

(メンバー)

・料理台配置パターンの3つのうちから選ぶとすれば、一番右の「料理教室パターン」が、汎用性が高く、子ども食堂や料理教室にも対応できるのではないか。

【オープンスペース及び事務室】

(メンバー)

・事務室の大半を占めている大きな机の取り扱い次第で省スペース化が可能になるかもしれない。

(小林由高ファシリテーター)

・現在の会館の事務は事務室で行われているようだが、例えば受付以外のいわゆる事務作業をオープンスペースで行えば、事務室の省スペース化にもつながる。また、団体と一緒にオープンスペースを使って、各種作業（資料作成、コピー、ラミネート加工等）で利用する場面も想像できる。

(メンバー)

・オープンスペースに事務室機能を移すというアイデアは良い視点かもしれない。

(小林由高ファシリテーター)

・オープンスペースの稼働率について、利用料が設定されていることも影響していると思うので、今後検討の余地がある。

【会館入口】

(メンバー)

・道路に面した正面側をメインの入り口とし、もう片方のピロティ側に勝手口があると使いやすいかもしれない。

※その他アイディアの詳細は別紙シート参照

4. スケジュール

●スケジュール (会場：久木会館)

○第4回WS (最終回)

日時：令和5年6月10日(土) 午前10時～

○パブリックコメント

意見募集日時：令和5年6月26日～令和5年7月25日